

分類	題名	種類	時間(分)	内容
子ども (1)	人権ってなあに6 (子ども篇) いきいき生きる - 子どもの権利と エンパワメント -	VHS	35	あたり前と思っている制服や校則、時々息苦しく感じる…。夢を実現するため学校を辞めることを自分で決め、認めてもらって嬉しかった…。川崎市では、そんな思いを持った子どもたちが参加して、「子どもの権利条例」がつくられた。今も条例を活かす活動を続けている。「自分たちのやりたいことを自分たちで…」中高生の居場所“ゆう杉並”の運営にたずさわる中高生委員長たち。子どもの視点から身近な問題を考える情報誌をおこづかいやアルバイトをして自力で発行する大阪「EFC」の子どもたち。ビデオは、そんな子どもたちが自立に向けいきいきと活動している姿を追い、虐待やいじめ、性的搾取などの問題にも触れ、本当の意味でのエンパワメントのあり方を探る。
子ども (2)	幼い命の悲鳴を 救うために - 地域の虐待防止 -	VHS	30	相次ぐ児童虐待事件。その悲惨な現実には、大きな社会問題となっています。虐待の多くは日常生活の片隅で起こり、外部からの的確な対処が難しいと思われています。幼い子どもは、自らを被害者だと訴えることができないのです。この作品では、とりの子どもの悲鳴を耳にしたある主婦のドラマを軸とし、虐待問題への関わり方を探っていきます。
子ども (3)	子どもの本音聞こえますか	VHS	30	親の理想を押しつけられ、その価値観の違いに戸惑い、苦しみ、反発し、やがて家庭の中に居場所を見失う子どもたち。各地に設けられた「子ども電話相談室」にはそのような子どもたちの悲痛な叫びが多数寄せられています。彼らの『訴え』を通して、親子の信頼のきずなを築き上げるためには、私たちは日常どうあるべきかを考えます。
子ども (4)	STOP CHILD LABOUR 日本の子どもたちは何を考えたか	VHS	32	1998年6月、ILO総会が開かれているジュネーブの街に「児童労働から子供を解放して！教育を受けたい！」という子供たちのシュプレヒコールが響きわたった。学校にも行かずに働かされる1億2千万人の仲間を代表して、世界中から集まってきた子供たちは、ILO総会の議場に招き入れられた。それは、ILO史上初めての歴史的な光景であった。それから1年後の1999年6月、第87回ILO総会は全会一致の採択により、「最悪の形態の児童労働の禁止及び廃絶のための即時行動に関する条約」(ILO第182号条約)を採択した。ちょうどその頃、日本のいくつかの学校では、ILO児童労働ビデオ“I am a child!／働かされる子供たち”を使って授業が行われていた。豊かな国、日本に暮らす子ども達は、同年代で働かされる世界の子供たちの問題をどう捉え、何を考えたのか。“I am a child!／働かされる子供たち”の発売以来、教員をはじめとする多くの方々から反響にこたえるべく、学校の現場に取材したレポート。
子ども (8)	小さな叫び	VHS	30	夜、小さな子どもの泣き声が悲しく響く。5歳の赤池有紀は、母親からいじめを受けていた。それを知った大森梢は、正義感があり他人が困っているのを黙って見ていられない性格。有紀を母親のいじめから救うと共に、赤池親子の関係が正常になるように心をくぐく。そんな梢の行動を良しとしない息子の秀光、母親の行動を見て自ら省みる嫁の奈緒、そして孫達。そして物語は梢の心臓病で急展開をむかえて…。
子ども (9)	プレゼント (アニメ) (字幕入り)	VHS	17	小学校4年生の綾香は、同級生の美由紀の誕生日に手作りの写真立てをプレゼントする。それは、美由紀のことを思って作ったプレゼントであったが、美由紀の気に入るものではなかった。腹をたてた美由紀は、それから綾香にいじわるを始める。美由紀がいじわるをするようになってから、それまで仲の良かった茜や恵まで綾香を避けるようになり、やがてクラス中が綾香を仲間はずれにするようになっていった。ただひとり、クラスで孤立している麻里だけが綾香をかばったが、ある出来事をきっかけに、綾香は学校を休んでしまった…。

分類	題名	種類	時間(分)	内容
子ども (10)	桃色のクレヨン	DVD ・ VHS	28	「そうやねん、8年ぶりにいとこの雪ちゃんが外国から帰ってくるねん！」美奈子の胸は期待でいっぱいです。自分より1才年上の素敵なお姉さんに成長した雪に再会することがとても楽しみです。英語を教えてもらったり、洋服を取りかえつしたり、ビデオを見たり・・・美奈子は雪と一緒にいろんなことをして遊びたいなと思います。美奈子は雪のことを学校で一番仲良しの沙希や夏子にも自慢します。ところが美奈子の前にあらわれた雪は自分が想像していたよりも幼く見えました。美奈子は思いました。「何かへんや？」父から、雪には知的障がいがあることを知らされます。とまどった美奈子はそのことをかくすためにみんなに嘘をついてしまいます。そのウソがばれて美奈子はクラスのみんなから仲間はずれにされてしまいます。そんな中、雪のやさしさにふれることで美奈子は様々なことに気付かされるようになります。一方、雪は桃色のクレヨンを探しています。みんなは雪にピンクのクレヨンを差し出しますが、「ピンクと桃色は違う」と言って受取ろうとしません。雪が探している桃色のクレヨンとはいったい何なのでしょう？それは美奈子が忘れてしまった幼い頃の雪との思い出にかくされていようです。最後に、美奈子、沙希、そして夏子も雪の姿を通して大切なことに気がきます。
子ども (11)	長編アニメーション映画 ハードル	DVD	84	横浜に暮らす有沢麗音(レオン)は、小学6年生のある日クラスメートの万引きを目撃してしまいます。中学受験を控え心にストレスを抱えているときでした。しかし友人の名を言わなかった麗音は犯人と誤解されます。無実を信じてくれない大人たちの態度に麗音は深く傷つきますが、友人と文房具店のおばさんの言葉に救われ、心の輝きを取り戻します。やがて、中学になった麗音は、父の失職と両親の別れによって、東北の古川市にある母の実家に家族三人で暮らし始めます。自然に囲まれ、心も、友達との輪も大きく広がっていきます。ところがバスケット部の入部を断ったことでいじめの標的にされ、どうとう生死の境をさまよう事件が起こります。波風が立つのをおそれて真実を隠そうとする大人たちに対して、子どもたちは立ち上がります。正義を奮い起こして・・・。
子ども (12)	自主制作映画 「本当の友達」	DVD	50	子どもがシナリオを考え、セリフを考え、子どもが撮影し、子どもがつくったいじめをなくすための映画 第1話 『なくなつたわぐつ』 第2話 『突然起こったいじめ』 第3話 『ごめんなさい』
子ども (13)	こどもしょくどう	DVD	93	“子ども食堂”が必要とされる現代社会を子どもの視点から書いた物語。小学校5年生の高野ユウトは、食堂を営む両親と妹と健やかな日々を過ごしていた。一方ユウトの幼馴染のタカシの家は、育児放棄の母子家庭で、ユウトの両親はそんなタカシを心配し、頻りに夕食を振舞っていた。ある日ユウトとタカシは河原で父親と車中生活をしている姉妹に出会った。ユウトは彼女たちに哀れみの気持ちを抱き、タカシは仲間意識と少しの優越感を抱いた。あまりに“かわいそう”な姉妹の姿をみかねたユウトは、怪訝な顔をする両親に2人にも食事を出してほしいとお願いする。久しぶりの暖かいご飯に妹のヒカルは素直に喜ぶが、姉のミチルはほどことなく他人を拒絶しているように見えた。数日後、姉妹の父親が2人を置いて失踪し、ミチルたちは行き場をなくしてしまった。これまで面倒なことを避けて事なかれ主義だったユウトは、姉妹と意外な行動に出始める一。(第44回日本カトリック映画賞受賞作品)